

第2号以降の予定

「日本文学研究ジャーナル」の創刊にあたって

日本文学の研究書・雑誌の刊行が受難の時代を迎えている。このところ文学専門誌の休刊が相次ぎ、研究者の発表の場が失われつつある。この背景には、文学研究そのものの重要性や情報化時代における出版のありようが問われているように思えてならない。

古典ライブラリーと青簡舎は、このような現状に自問しつつ、ここに文学研究誌「日本文学研究ジャーナル」を創刊し、研究者・読者とともに考えていく場としたい。

本ジャーナルは、大学図書館・研究室、公共図書館、および研究者向けに冊子体として刊行するとともに、

あらたな出版形態の試みとして、「日本文学Web図書館」(運営：古典ライブラリー)のサイト内でオンラインジャーナルとしても同時配信する。

冊子体の刊行はその一覽性の利便さを生かすものであり、一方、オンラインジャーナルは、国内はもちろんのこと要望の高い海外にも配信し、毎号蓄積された論考や資料をデータベースとして検索の便に供することで、研究活性化の一助となることを企図するものである。読者諸氏のご購読とご支援を切に願いたい。

二〇一七年三月

古典ライブラリー
青簡舎

第2号 (二〇一七年六月)

中世の仮名日記・漢文日記

【編集】 田淵句美子 谷知子

第3号 (二〇一七年九月)

源氏物語の和歌と言説分析

【編集】 土方洋一 陣野英則

第4号 (二〇一七年二月)

近世の和歌と漢詩

【編集】 鈴木健一 池澤一郎

第5号 (二〇一八年三月)

万葉集はどう読まれてきたか

【編集】 乾善彦 田中大士

第6号 (二〇一八年六月)

近代

【編集】 (交渉中)

第7号 (二〇一八年九月)

上田秋成と読本

【編集】 飯倉洋一 田中則雄

第8号 (二〇一八年二月)

連歌・俳諧

【編集】 廣木一人 玉城司